

教育・研究などへの取組状況

総合工学システム学科 環境物質化学コース 教授 東田 卓

項目	取組状況
教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 平成28年度担当科目 総合工学システム概論（1年）、基礎工学演習Ⅲ（2年）、有機化学Ⅰ（3年）、環境物質化学実験Ⅰ（4年）、基礎研究（4年）、卒業研究（5年）、応用有機化学（専攻科1年）</li> <li>◆ 担当科目の取組状況（工夫・改善した点） 執筆している教科書の正誤表を毎年更新し、新しい「刷」にて改訂を行っている。授業評価アンケートや教員の相互評価を元に常に授業ノートを改訂し、ティーチング・ポートフォリオ、アカデミック・ポートフォリオの改善に挙げている。</li> <li>◆ 特記すべき教育方法の実践例 総合工学システム概論（1年）、基礎工学演習Ⅲ（2年）、におけるアクティブラーニングの導入。特に総合工学システム概論においては東京大学の栗田先生・吉田先生のグループと連携し、ジグソー法を発展させた「ポスターツアー法」を導入し、自発的なキャリアデザインに取り組む教育プログラムを構築した。一連のALの活動は関工協にて報告・講演を行った。</li> <li>◆ 学生の学会における受賞 日本高専学会第22回学会年会講演会優秀ポスター賞</li> <li>◆ 校長顕彰などの受賞 校長顕彰（2）（6）を受賞</li> </ul>
研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 平成26～28年度における研究業績 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 著書 PEL 有機化学（国専協で指定されている全国高専共通テキスト PEL を執筆）</li> <li>■ 学術論文執筆 Formation of Lactones by Decarboxylation of Aromatic Diacids via TiO<sub>2</sub>-Mediated Photocatalytic Reactions in Acetonitrile Solution. <i>Chemistry Letters</i> <b>2016</b>,45 (7), 801-803 他5件</li> <li>■ 国際会議での発表 Lactone Formation from Aromatic Diacid Compounds by Photocatalytic Reaction TOCAT7 KYOTO2014 他1件</li> <li>■ 学術講演会での発表 低温焼成した各種 TiO<sub>2</sub> 粉末膜の光電気化学特性評価 電気化学会第84回大会 他19件</li> </ul> </li> <li>◆ 平成26～28年度における外部資金獲得状況 平成26年度新学術研究（研究領域提案型）2606 他2件</li> </ul>
社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 平成26～28年度における公開講座・出前授業の取組状況 子と親の楽しいかがく教室（日本化学会共催行事） 他20件</li> <li>◆ 平成26～28年度におけるボランティアとしての社会貢献 日本ボーイスカウト京都連盟京都23団副団委員長として青少年を育成</li> </ul>